
夜人 - ヨルヒト -

睡蓮鏡華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夜人 - ヨルヒト -

【Nコード】

N3840W

【作者名】

睡蓮鏡華

【あらすじ】

ビルから飛び降り自殺をした夏帆。しかし自殺をしたと思っていたのになぜか別の世界へ。そしてその世界は「ぬらりひよんの孫」の世界だと気づく。彼女はいったいどうなるのか…。

登場人物（前書き）

書き直しをしてタイトルも変えました。

駄作ですがよろしく願いいたします。

登場人物

主人公

名前 樹下 夏帆 キシタ カホ

性別 女

年齢 中学生 転生前は高校生

身長 162センチ

体重 50キロ

一人称 私

喋り方 初対面は敬語 そのうちため口になる。

血液型 O

誕生日 3月3日

趣味 読書 電車に乗って知らない街に行くこと

特技 人の心が聞こえる

備考

転生者

特技のせいで転生前はいじめがあった。

ビルから飛び降り自殺をするが、転生し、その後妖怪に憑かれてしまふ。

霊感もあつてか妖怪も見えてしまっているので困りもの。

中学生に上がる時秋田から東京の浮世絵町に引っ越す。

主人公に憑く妖怪

名前 黒汚刃子 くろおばね

性別 女

年齢 戦国時代から生きている

身長 175センチ

体重 54キロ

一人称 私もしくはアタシ

喋り方 敬語

誕生日 覚えていない

趣味 刀を磨く

特技 人に取りつく

備考

妖怪で夏帆に取り憑いた。しかしなぜか夏帆の体からぬけられずにそのままになってしまっている。

いつもは夏帆のに取り憑いているが、妖怪になる時には一時的に夏帆の体からぬけだして妖怪になる。

その時夏帆の意識もぬけだしているので、本体の意識はない。

自殺志願者

私は、飛び降り自殺をした。

理由は、生まれつき…だったのだろうか。私には人の心が否応なしに聞こえてしまっていた。

そして、そのことを両親に話したら気味悪がれ、だんだん私と話すことをしなくなってしまった。

どうしてなのだろう。その疑問はすぐに分かってしまった。

皆には聞こえてはいないのだ。心の声など聴く必要などないのだから。

その噂は、友達や学校近所の人に知られ疎ましく思われた。

学校ではいじめに合って、友達は私の元から離れていった。

先生も見ても見ぬふりをし私を助けてくれることはなかった。

耳をふさいでも次から次へと聞こえてしまう心の声。

どうして受け入れてくれないのだろう…。

皆は私のこと…死んでほしいと願ったのだから、お望み通りビルから飛び降りて死んだ。

で、私は死んだはずなのに……なぜかこの記憶とこの忌々しい力を持ったまま転生した。

そしてこの力のことは絶対に話さないと、生涯固く誓った。

話を戻して、今は高三の姉さんとマンションで二人暮らしをしている。

両親は去年事故で亡くなってしまった。

そのあと姉さんが引き取ってくれて暮らしている。

確か今は１１歳…どうでもいいけど。

「夕飯か…出掛けようかな…」

姉さんは部活とアルバイトをしているので、戻るのはだいたい夜中が多い。

ご飯は自分で作れるのでカップめん暮らしはしていない。

財布を片手に町へ歩いていく。

今日の夕飯は、から揚げにしようか…。

そんなことを考えながら歩いていると、後ろから聞こえる心の声。

——みーつけた。

何を見つけたのだろう……。ため息がつきたくなった。

今、道端には私一人……。つまりは私に対していつているのだろう。

後ろを振り向こうとしたときに首筋に衝撃が走り意識が無くなっ
てしまった。

黒汚刃子（前書き）

やっと出てきたオリジナルキャラクターさん。

次回更新もがんばります。

黒汚刃子

・黒汚刃子

元々は女の人であつたのだが、愛していた人に裏切られ彼の引き連れてた妖怪に殺された。

そして恨みが彼女を妖怪としてまた生き返らせ愛していた人と妖怪を殺した。

そして今も人を慕っている妖怪を殺したり、女の人に取り憑いて呪い殺したりをしている。

同じ妖怪からはあまり気に入られてはいない。

姿は不吉を呼ぶというカラスの羽を生やし黒い着物を着ているのが特徴。

美しくも、脆く儚い妖怪。

「で…どういふことなのか説明をしてくれないかな？」

「（すいませんでした）」

ただ今私は自宅におり話しかけております。

周りにはだれも居ませんが。え？　１人で会話をしているのかって？

違います。私の体の中に憑いている妖怪と会話をしております。

さかのぼること数時間前、この妖怪は、私を気絶させて取り憑いたようです。

が、すぐに私が目覚めて取り憑くのをやめようと思ったのですが、

なぜか私の体に定着してしまいぬけられない…といった状況になってしまったらしい。

あの場においても仕方ないのでとりあえず一度自宅に戻ってきたというわけです。

そして今、体の中にいる妖怪を問い詰めているわけです。

傍から見れば1人おままごとをしている小学生にしか見えない。

まだお姉さんは帰ってきてないので安心して話せます。

「本当にぬけられないの？」

「（すいませんが本当なんです）」

なんか変な気分ですね…。妖怪に憑かれるなんて。

あれですか。100年たった物が妖怪化する憑くも神じゃないんですから。

「仕方ない…。被うつというより私とあなたが分離する方法を探すから、しばらくはこのままですね」

「（いいんですか？）」

「別に、面倒事に巻き込まれるのは度々あるしね。（そのうち巻き込まれそうだけど）」

「（ありがとうございます。私の名前は黒汚刃子です。貴方は…）」

「私は、樹下夏帆」

黒汚刃子か…。聞いたことない妖怪だから後で調べてみよう。

出てこなかったら本人に聞きくだけだし。

そう言えば夕飯を作っていなかった。

早く作って食べないと…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3840w/>

夜人 - ヨルヒト -

2011年11月13日00時44分発行